

## 「人の心はみんなちがう それが当たり前」

5年生の児童に人の心についての道徳の授業をしました。

まず、「自分が好きなことやワクワクすることはどんなこと？」と聞いてみると、「ゲームが大好き」「友達と遊ぶのが好き」などを挙げました。しかし、中には「難しい問題が解けたとき」や「褒められたとき」と答える児童もいました。そのとき、周りの児童が「あ～分かる」「確かに！」と共感的な反応を示す姿が多く見られました。共感してくれた児童はうれしそうな笑顔を見せっていました。

次に、「自分がよく考えてしまう悩み事、不安な事は？」と聞いてみました。最初は「この内容は話してもいいのかな？」と不安そうな児童たちでした。しかし、一人二人と話す児童が増えていくと少しずつ盛り上がりしていく雰囲気になりました。そのときもやはり共感的反応が多かったからこそその盛り上がりだと考えます。

最後に活動を通しての感想を聞きました。子どもたちの第一声は「意外だった」でした。詳しく聞いてみると「自分と違う悩みをもっていて意外だった」「みんな自分とは違う、様々な悩みや困りをもっている」という理由でした。ここから分かったことは人の心はみんな違うこと、それが当たり前だと言うことです。子どもたちはみんな自分と同じことを考えていると思っていたようでした。しかし、仲間との対話を通して、人の心は違って当たり前ということに気付くことができたと思います。

このように子どもたちは対話したからこそ、大切な価値に気付くことができました。この価値はこれからを生きる子どもたちの考え方の一つになってほしいと願った授業でした。お読みいただいたみなさん一人一人にも思いや考えがあると思います。人の心は人それぞれです。「みんな違ってみんなない」という言葉がある通り、お互いが声を掛け合い、認め合いながら3学期も生活できるといいなと思います。

## スマホやインターネットを上手に使おう

スマホやインターネットの普及により、全国的に子どもたちがトラブルに巻き込まれる事例が増加し、その対策が緊急の課題になっています。また、子どもたち同士でのやりとりから誤解やそれ違いが生じて、嫌な思いをするということもあり得る話です。オーストラリアでは16歳未満のSNS利用を禁止する法律が可決されました。これから社会に出て行く子どもたちにとって、インターネットなどの活用能力は必須ですので、情報機器の利用は避けては通れません。学校では、日常的に情報モラルの指導を行っていますが、ご家庭ではいかがでしょうか。

スマホやインターネットに時間を使いそうな冬休みを前に、ご家庭での守るべきルール、マナー、危険から身を守るためにの注意事項をお子さんとともに確認し、安全で正しい活用について話し合っていただけたらと思います。

東京都の資料を基にネット利用のしかたチェックをまとめてみました。これを基に、ご家庭での話題にしてみてはいかがでしょうか。それぞれのご家庭でのルール作りも進められたらと思います。

## 子ども用 ネット利用のしかたチェック

チェック内容	○印
スマホやネットを使う時間の長さや時間帯を家人と決めている。	
迷惑メール・メッセージが来ても、無視して返事をしない。	
変なWebページが開いたら、すぐにそのページは閉じるようにしている。	
ネットショッピングやゲームへの課金を、家人にないしょでしていない。	
家人の許可をとつてからアプリや動画などをダウンロードをしている。	
動画や画像をアップロードしない、または、するときは家の人の許可をとっている。	
SNSやブログなどに、個人情報（自分のでも友達のでも）を書き込んでいない。	
パスワードを大切にし、他人のパスワードをたずねたり使つたりしない。	
チャットやSNSなどで初めての人にさそわれても、実際に会わない。	
SNSなどに悪口やうそ、事実であつても公表してはいけないことを書き込んでいない。	
困ったことがあつたり、変なメールやページを見つけたりしたときは、家人にすぐに話すようにしている。	

## 保護者用 ネット利用のしかたチェック

チェック内容	○印
情報モラルに関わる事件や課題について関心をもつてニュースなどをチェックしている。	
子どもにスマホを与える前に、本当に必要かどうかよく検討し、使わせる場合はフィルタリングの設定や使用時間の制限をしている。	
パソコンは子どもだけで使う場所には置かず、家族の目が届く場所に置いている。	
子どもと話し合って、スマホやインターネットを使う際のルールを作り、守らせている。	
ブラウザやフィルタリングアプリの「閲覧履歴」を定期的に見て、子どもがどのようなページを見ているか確認している。	
子どもにクレジットカード情報を教えたり、子どもにクレジットカード情報を見られるような場面を作つたりしていない。	
子どものSNS使用状況を定期的に確認している。	
子どものSNS等のパスワードを知っている（秘密にしていない）、または管理している。	
スマホやインターネットの使い方や、ネットに関わる事件について家族で話題にしている。	
子どもがスマホ、特にネットゲームやビデオチャット等をしている実際の様子をよく見ている。	
家族での会話を大切にし、困ったことを子どもが話しやすい雰囲気を作っている。	

冬休みに入ります。年末年始の家族内での関わりや役割分担を増やし、家族の中での子どものやる気や存在感を高めていけたらと思います。お年玉の自己管理経験もよいお勉強。

冬休みはリラックスとともに、家族の中でたくさんお話をし、何かがんばれたことがあれば、冬休みが明けてもよい方向につながっていくものと思います。



文責：生徒指導主事（石井）